

# 建築の中で、 インテリアの専門性を追求

インテリアから建築まで、全て対応できるデザイナーとして



①



②



③

## ①おひさまこどもえん

**えほんひろば 本棚**  
幼保連携型認定こども園の設計および、家具のデザイン・施工事例。ひろばの壁に本棚を造作し、こどもたちが好きなように色々なくぼみ(DEN)に入って遊べるようにした。こどもたちはこういう小さいところにも入るのが好き。

## ②おひさまこどもえん

**えほんひろば  
ベンチ型本箱**  
こどもたちの遊び場となるえほんひろばには、上に乗って遊べるベンチ型本箱をつくった。

## ③三交不動産

**住宅展示場**  
木の良さを生かした内装をコンセプトに、インテリアコーディネート、家具のデザインや造作家具の製作を行った。階段を目隠しするため木を上手に使ったスクリーンをデザイン。TVボードやキッチン、ソファなどをトータルコーディネートした。

## 木辺智子さん

(きべともこ)  
一級建築士、インテリアプランナー  
キッチンスペシャリスト  
株式会社フォーラム 取締役



### 《経歴》

1972年名古屋造形芸術短期大学インテリアデザイン卒。株式会社中部デザイン研究所および東洋プライウッド株式会社を経て、現在株式会社フォーラムにて一級建築士事務所フォーラムデザインワークスを開設し、住宅や店舗の設計、デザイン、施工業務を行う。

2000年に夫婦とお互いの親、3人の子供も同居するための事務所兼自宅を新築、親の介護をしながら大家族で暮らす。最近では保育園・こども園の設計デザインの他、こどもの自由な感性を育てるアート教育にも取り組んでいる。現在、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 JID賞選考委員

### 《実績》

- ・『S邸』 マンションリフォーム 設計・施工 (2005)
- ・『S-HAUS』 新築工事 企画・設計・施工 (2006)
- ・集合住宅『Cubell本山』 新築工事 設計 (2009)
- ・デザートレストラン『paff』 設計施工 (2012)
- ・あま市ひかり保育園インテリアデザイン (2014)
- ・三交不動産 モデルルーム四日市、大府、半田 インテリアデザイン (2015)
- ・名古屋市おひさまこどもえん、清須市ゆめのもりこどもえん設計・デザイン (2016)
- ・マミーズ保育園シリーズ設計・施工 (2017) (ほか多数)

### 《受賞歴》

- ・第3回CCDOデザインアワード2005 (2006)
- ・我が家のリフォームコンテスト「名古屋市住宅供給公社理事長賞」「すまいる愛知賞」(2006 / 『S邸』 マンションリフォーム)

## スキルアップを目指して資格に挑戦

名古屋で設計・施工の会社を持ち、設計・インテリアデザインに携わっています。施工も手掛ける会社なので、家具・カーテンの制作、リフォームから新築一戸建てまで、全て請け負っています。

この道に進むきっかけは、インテリアデザインを学んでいた学生時代、著名な建築家が建物から家具・カーテン、プロダクトのデザインまで、トータルにデザインする仕事のやり方を見て憧れたこと。インテリアから建築まで全てやれるようになりたいと、資格の最終目標を一級建築士にし、地道に勉強してスキルアップしてきました。

インテリアプランナーの資格を取ったのは会社員時代でした。二級建築士の資格を取った後でスキルアップへの意欲も高まった頃です。ちょうどインテリアプランナーの制度ができたときで、大臣認定資格とされていましたから、インテリアを仕事にしていきたいと考えていた私には必須資格だと思い、一級建築士の資格より先に目指すことにしました。

## 人の暮らしに一番近い環境をデザイン

インテリアは建築空間において人間が直接に接する、人の暮らしに一番近い部分であり、

空間づくりの上ではとても重要な要素だと考えています。建物全体の設計に対し、インテリアの観点からより面白い提案、よりデザイン性の高い提案を行うこと。その結果、居心地が良かったり、わくわくしたり、そこで過ごす人にとって最も良い空間になるようにすることが、私たちの仕事だと思います。

おひさまこどもえん(写真①・②)の仕事は、設計からインテリアデザイン、家具の製作まで、トータルに自社で請け負いました。写真は、3歳～5歳のこどもたちがそれぞれの部屋から出てきて遊べる「えほんひろば」です。こどもたちがのびのびと動き回れるよう、ひろばの壁はゆるやかな曲線を描いています。そうしてできた楽しい形のひろばの中に、こどもがこもったり、上に乗って遊べる本棚をつくりました。こどもが長く過ごす施設ですので、様々な体験ができるように工夫しています。部屋の大きさが用途に応じて変えられるランチルームや製作を楽しむアトリエ、雨でも活動ができる大きな屋根を持つテラスなど、建築とインテリアの両面から検討を重ねました。住宅展示場(写真③)の仕事は、販売主である不動産会社の依頼でインテリアデザインから小物のコーディネートまで担当しました。

インテリアプランナーの資格があって良

かったと感じるのは、インテリアに関して専門性の高い人間だと見ていただけること。私は建築の中でもインテリアを重視したいという思いが強かったので、この分野で仕事を拡げていくうえでの弾みにもなりました。最近では建築の中でインテリアの専門性が求められる場面が多くなって、あらゆる場面でインテリアデザインワークが発生していることから、この仕事の意味を実感しています。